

ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No.1263

19.10.1

9月定例会市議会報告

ラグビーのワールドカップで日本が優勝候補のアイルランドを破り連勝。にわかラグビーファンですが、土曜日のサモア戦が楽しみです。9月定例会市議会は残すところ10月2日(水)の最終日だけとなりました。本号は、私・ひめだが所属している総務委員会での議案審議について報告します。

会計年度任用職員制度の問題点

「自治体間の扱いを統一し、臨時・非常勤職員の待遇改善を図る」との理由に非常勤職員と会計年度任用職員(アルバイト)の雇用について2007年5月、法律

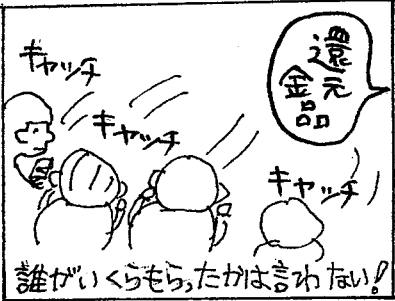
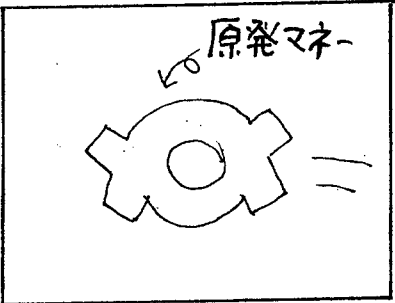
改正が行われ会計年度任用職員制度ができた。この制度に移行する条例制定が9月市議会に提案されました。会計年度任用職員とは、会計年度(一年)を超えない範囲の非常勤職員です。再度の任用は可能ですが、その判断は自治体の裁量です。勤務時間は1日タイム(7時間45分)とパートタイム(7時間)の二種類ですが、和歌山市はパートタイムしか採用しません。

当局は「この制度により期末手当が支給できなくなりながらも一ではこの制度の導入に関して財政的負担は増えないと説明しました。これは、どこかで人件費の前減が見込まれていることを示しています。現に市は来年度から市民課の窓口を民間委託しようとしていたり、学童保育の指導員を民間委託しようとしています。

フワのフワ



(1046)



民間企業では労働契約法により有期雇用から無期雇用への転換する仕組みがあります。公務員にはありませんが、公務員法にはその法が適用されず、自治体の判断で、いつまでも非正規、いつでも雇い止め可能です。公務員は、任期の定めのない非常勤職員を中心に、公務員法を原則として適用し、この条例制定には反対しました。

今週のフワのフワ (その209)

原発マネー関連電流

関西電力の岩根茂樹社長は9月27日、八木誠会長を含む経営幹部の20人が7年間で約3億2千万円の金品を受け取ったと記者会見を発表。資金提供は金沢国税局の税務調査で判明しました。福井県高浜町の元助役(死亡)が原発関連工事の建設会社から約1億5千万円が提供されていたと、水・電気料金が原発の「原発マネー」が関連会社に

提供していたと、資金提供は、企業倫理の喪失にとまらざる、原発の安全対策に直結するもので、問題に原発を動かす姿勢はあてまえん。



ひめだ高松

2014年6月の 一般質問からのお待たせしました

この春に旭橋田地で訪問したお宅で「今までずっと応援してきましたけど、今回は」と言われ理由を聞くと「国体道路から医大に入る道路の拡幅が進まないから」とのこと。4年前、当時、担当課からは国体が終われば着工すると内々に返事をもらってそのことをゴラにしました。今年の春の時点で夏頃にはとのことでした

若くして不妊治療

9月25日(水)市民会館で劇団前進座公演「ちひろ」私・絵と結婚するの「を」見ました。いぢきささひろと松本善明さんの出会いを描いたお芝居です。親の勧めのままに一度目の結婚に失敗したちひろが総描きとして自分をめぐり付き合う仲間たち。そして青年運動を通じ食えな生活を一歩しても弱い人の味方になろうとする善明さんと出会う。若くしてイイね。

日本共産党

政党助成金ため込み
アベ首相を含むアベ内閣の関係者に、副大臣に人、大臣政務官に人、官房副長官、首相補佐官各一人の計37人が自ら支部長を務める政党支部で2

の18年度に総額4億3千万円の政党助成金を受け取りながら、その3割強に当たる1億5千万円を使い残したため込んでいることが「しんぶん赤旗」の調べでわかりました。政党助成金の原資は国民一人当たり年2500円の税金。余ったら国庫に返納するのが原則ですが、「基金」の名で積み立て翌年に繰り越すことを可能にして政助成金の「返納逃れ」を使っているためです。10月から消費税10%大増税を強行し、「全世代型社会保障」の名で国民に給付減と負担増を進め内閣の権限が悪びれず増徴を、私物化してしまふ。

潮流

オムライスのおいしい店でした。代々木の党本部のすぐそばで30年近く営業してきた喫茶店が閉店しました。きのうの最終日はなじみ客で行列がでぎ、店まが一人ひとりに「お世話になりました」と声をかけていました。▼近所の喫茶店が次々となくなっていく。今年は過去20年で最多の倒産。ペーパーストックの倒産が相次いでいるそうです。店主の高齢化、チェーン店やコンビニの攻勢に加え、消費税の増税が苦境に拍車をかけています。▼きょうから消費税が10%に引き上げられます。週末のスーパーや量販店は大混雑。少しでも安く買うことに駆け込む市民、複雑な仕組みに悲鳴を上げる商店。そんな苦境を気にもせず、アベ政権は二度目の大増税を強行しました。▼最悪の不公平税制といわれ消費税

が自民党によって導入されてから30年余。多くの国民は泣かされ続けてきました。社会保障のためでも財政健全化のためでもなく、ひたすら大企業やお金持ちの減税の穴埋めに使われ、経済を低迷させました。▼この悪税がついに2ケタに。1万円の商品を買えば、千円札が1枚消えます。しかも給料は上がりず医療や介護、年金は改悪続き。社会に貧しさと格差がひろがるばかりで。「できれば何も買いたくない」。消費者の切なる思いです。▼日々の営みや生きる権利を奪う税の集め方、使い方。被災者にも思い打ちをかける悪行です。このでも問われるのは政の本質。くらしを支え国民を守る政治を実現させるためにも共同のたたかいです。

赤旗
日刊 3497円
日よび 900円